

8/13

ヘリ墜落事故から10年をむかえて



沖国大への米軍ヘリ墜落事故から10年が経過したことを受け、佐喜眞市長が記者会見を行い、「SACO合意から18年、ヘリ墜落事故から10年経過した今なお、市民の危険性や基地負担が変わっていない現状は遺憾。市民の悲願である普天間飛行場の早期閉鎖・返還の実現と、返還後の安全安心で夢のある街づくりに取り組んでいく」との市長コメントを発表しました。

8/12

経験を風化させないために



沖縄国際大学構内における米軍ヘリ墜落事故から10年を迎え、事故当時活躍した消防士たちが多く退職していることをうけ、若手消防士に経験や技術を伝え、これを風化させないことを目的に、航空機事故初動訓練が行われました。訓練は、本番さながらの緊張感の中行われました。

男女共同参画支援センターふくふくでは人権の尊重と安全安心な子育て環境づくりを目的にNPO団体との共催による子育て講座を開催しました。「いのちの教室～生まれてくれてありがとう～」（私らしいお産を考える会）では「子どもも親も、自分はステキ!と感じる機会になった」などの感想が寄せられました。

7/26



NPOと共催で子育て講座を開催



軟式野球から硬式野球へ!

7月30日(水)、市内の中学校3年生を対象に「SPORTS PROJECT 野球競技会in宜野湾市」(主催:(一社)スポーツ・プロジェクト)が市立野球場で開催されました。元メジャーリーガーの小宮山悟氏などの指導に対し、子どもたちは真剣な表情で聞き入り、練習では充実した汗を流していました。

キッズ&ヤングのページ Growing Up

ビーチバレーで全国へ!



7月25日(金)、マドンナカップビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会へ出場する宮城かなさん(普天間高3年)が市役所を訪問。「室内バレーと違うところも多く難しいが頑張りたい」と抱負を話しました。

お手伝いします!



8月5日(火)、「はごろも★わくわくキッズ隊」として、小学生たちがミニデイサービスのボランティアを行いました。緊張しながらも、一生懸命お手伝いをしていました。



フードドライブ活動へ協力!

7月28日(月)、普天間中学校から市社会福祉協議会へ食料を支援するフードドライブへ贈呈式がありました。給食委員の国吉奏音さんは「保護者の協力を得て多くの食糧を集めることができた。困っている人たちの役に立ってほしい」と話しました。



ただいま~!私たちのルーツ沖縄

横浜に在住し、沖縄に親戚を持つ南米出身の日系人児童、生徒が参加する「沖縄ヘルーツを探る旅」の皆さんが、8月7日(木)市役所を訪れました。参加した児童は、沖縄文化や移民の歴史について学び、親戚たちを訪問しました。